

⑩ 日本国特許庁 (JP)

⑪ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U) 昭63-77471

⑬ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑭ 公開 昭和63年(1988)5月23日

H 02 K 37/24
F 16 C 19/12
H 02 K 5/173
7/067829-5H
7127-3J
B-6821-5H
A-6650-5H

審査請求 未請求 (全2頁)

⑯ 考案の名称 スクリューシャフト付きステッピングモータ

⑰ 実 願 昭61-171957

⑱ 出 願 昭61(1986)11月11日

⑲ 考 案 者 佐 藤 尚 次 群馬県桐生市相生町3丁目93 日本サーボ株式会社桐生工場内

⑳ 出 願 人 日本サーボ株式会社 東京都千代田区神田美土代町7

㉑ 実用新案登録請求の範囲

- (1) 磁性材薄板より成り、その円筒状内周面に極歯を形成した磁極部材とこれに囲まれる如く配設されるコイルとを有する固定子と、その外周面に多極着磁された永久磁石を主体とし前記固定子の内側に空隙を介して回転自在に軸支される回転子とより成り、該回転子を支承する軸の露出部分が螺子構造を成す如き、フロッピーディスクのヘッド駆動等に使用されるスクリューシャフト付きステッピングモータにおいて、前記軸の両端部は円錐状の傾斜面を形成すると共に、前記軸を支承する軸受は、その一方が固定子に一体的に固着された底面部材の軸受箱に、又他方が前記底面部材と逆の側に固着された保持部材先端の軸受箱に、夫々配設保持されたピボットベアリングである事、を特徴とするスクリューシャフト付きステッピングモータ。
- (2) 前記ピボットベアリングの少なくともその一方を軸受箱に対し滑動可能とすると共に、該軸受箱底面に螺子孔を形成してここに螺子部材を

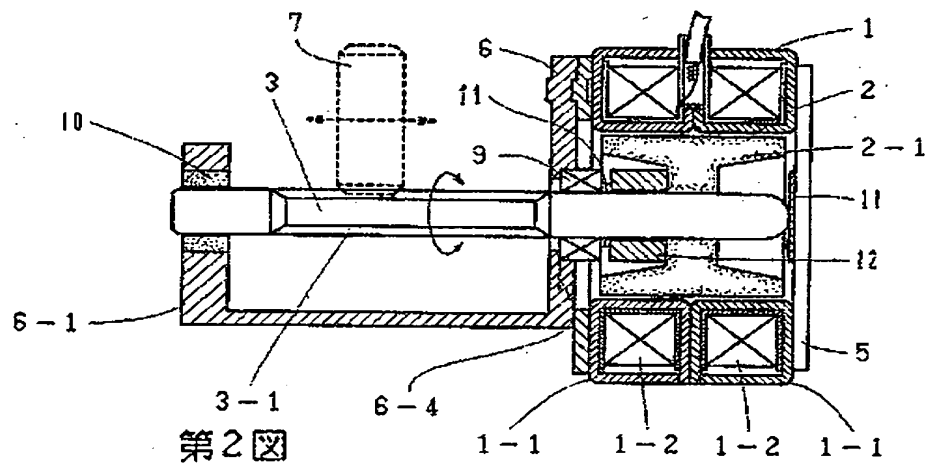
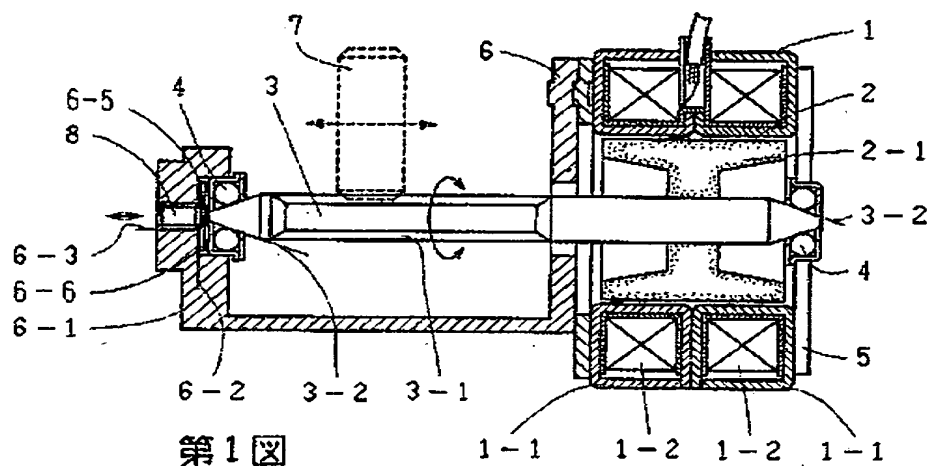
螺合せしめ、該螺子部材で前記ピボットベアリングを軸方向に押圧可能な構成とした事、を特徴とするスクリューシャフト付きステッピングモータ。

図面の簡単な説明

第1図は本考案に成るスクリューシャフト付きステッピングモータの例を示す断面図、第2図は従来技術に成る例の断面図である。

符号の説明、1……固定子、1-1……磁極部材、1-2……コイル、2……回転子、2-1……永久磁石、3……軸(スクリューシャフト)、3-1……螺子形成部、3-2……傾斜面、4……ピボットベアリング、5……底面部材、6……保持部材、6-1……先端部、6-2……軸受箱底面、6-3……螺子孔、6-4……胴当り、6-5……当て板、6-6……予圧バネ、7……負荷、8……螺子部材、9……ボールベアリング、10……スリーブベアリング、11……間座、12……ブッシュ。

実開 昭 63-77471(2)



BEST AVAILABLE COPY